

公益財団法人京都市国際交流協会

第1 法人の概要

1 代表者

理事長 千玄室

2 所在地

京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1

3 電話番号

075-752-3010

4 ホームページアドレス

<http://www.kcif.or.jp/>

5 設立年月日

平成元年1月18日

6 基本財産

100,000千円（うち本市出えん額 100,000千円，出えん率 100.0%）

7 事業目的

京都において、歴史、文化その他の地域特性を生かした国際交流活動を推進することにより、市民レベルの相互理解と友好親善を深め、京都の国際化に寄与すること。

8 業務内容

- (1) 国際交流を推進するための事業
- (2) 多文化共生社会を推進するための事業
- (3) 地域の国際交流団体の活動の振興
- (4) 留学生の支援
- (5) 姉妹都市交流の促進
- (6) 京都市国際交流会館の管理運営受託
- (7) その他協会の目的を達成するために必要な事業

9 所管部局

総合企画局国際化推進室（TEL075-222-3072）

10 役員名等

(1) 理事長

千玄室

(2) 専務理事

山内清

(3) 理事

有田典代，小川伸彦，陳萍，高木壽一，高田光治，仲尾宏，浜田麻里，
牧敬二（総合企画局国際化推進室長）

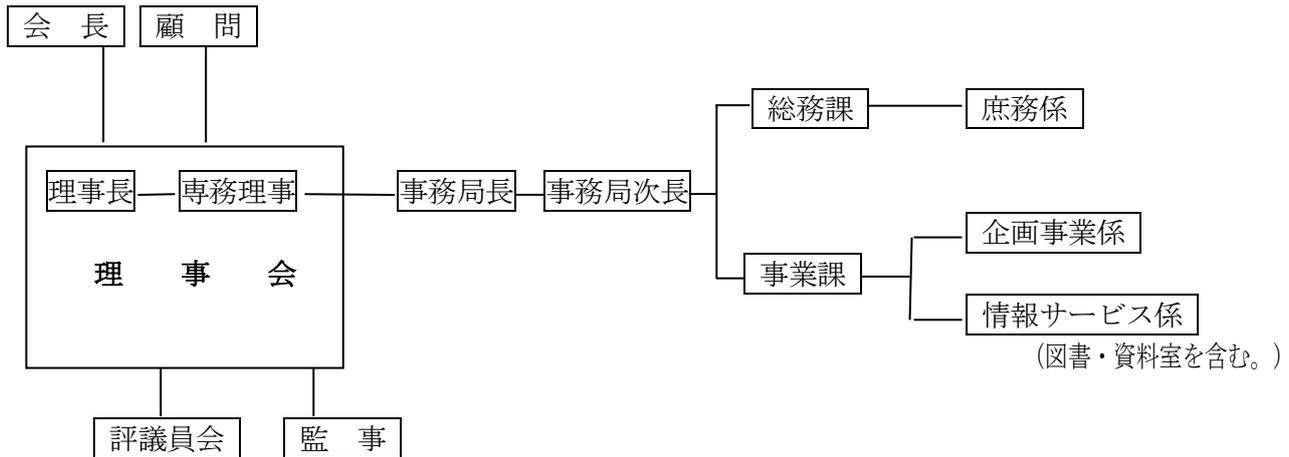
(4) 監事

中村健児，奥井拓史（総合企画局総合政策室長）

11 常勤職員数

19人（うち本市派遣職員0人）

12 組織機構



第2 経営状況

1 平成 29 年度決算

(1) 事業報告

ア 市民への情報提供、相談事業

- (ア) 情報サービス関連
- (イ) 図書・資料室の運営
- (ウ) 相談関連

イ 国際交流団体等との連携事業

- (ア) 京都国際交流団体情報ネットワーク (kokoka 国際交流団体ねっと)
- (イ) 企業等コラボ事業
- (ウ) 名義後援等による国際交流団体活動の支援

ウ 共生社会を促進していくための担い手育成事業

- (ア) ボランティア活動育成事業
- (イ) 担い手育成事業
 - a 国際交流市民活動グループ育成支援事業「COSMOS」
 - b インターン受入事業
 - c 社会見学受入事業
 - d 日本語教室開講に対する支援

エ 異文化理解・多文化共生社会への促進事業

- (ア) 異文化理解・多文化共生社会を促進するためのフォーラム・セミナー等
 - a ロングステイセミナー 「親子で楽しむロングステイ 一から学ぶ！」
 - b 京都市友好都市青少年会議～京都もっとええとこサミット 2017～
 - c 「チョゴリときもの」シリーズⅡ 第25回 ～コリアン視点の「日本と京都」、恋愛・就職・結婚～
(特別永住者としてのコリアンの歴史や現状に対する理解を深めるとともに、日本の真の国際化、豊かな共生社会の推進を考える連続フォーラム)
 - d フォーラム「チョゴリときもの」No.24 音声起稿
(連続フォーラム「チョゴリときもの」の内容をPDFに取りまとめてWEBで公開し、在日コリアンの歴史や現状への理解を促進)
 - e 講演会「外国人の家事紛争とADR」
- (イ) 異文化理解を促進するための交流活動
 - a kokoka オープンデイ 2017～今から ここから あなたから～
(京都市国際交流会館の存在を知っていただくことを目的に開催する国際交流イベント)

- b 朝鮮通信史ゆかりのまち全国交流会 2017 京都大会
 - c 子どものための国際理解教育協働促進事業 国際理解プログラム「PICNIK」
 - d 開発教育入門セミナー ～「足もと」と「世界」をつなぐ～
 - e 子どもワールドフェスティバル
 - f 国際理解教材の貸出
 - g 世界の絵本展「おはなしいろいろマルシェ 今年紙しばいもたくさん！」
 - h 京都につながる世界歴史都市絵本展
 - i KYOTO・ふれあい講座「はじめてのお茶」
 - j やさしい日本語（初心者向け日本語学習講座）
 - k ほっこり BOOK カフェ（多文化共生社会の基本概念を広めるために、外国籍市民と日本人がお互いの意見を交換することで、多様なものの見方や考え方を知る事業）
 - l Malam Indonesia インドネシアの夕べ 2017
 - m 京都市国際文化市民交流促進サポート事業（京都市内の団体からの依頼に応じて、研修やイベントなどの各種催しに、外国にルーツを持つ方々を講師として派遣する事業）
 - n Mission In Kyoto～地下鉄に乗ってミッションをクリアせよ！
- (ウ) 多文化共生社会へのまちづくり
- a 医療通訳派遣事業
 - b コリアンサロン「めあり」（朝鮮半島の歴史、文化の紹介や在日韓国・朝鮮人に対する理解を目指し、韓国民団京都府本部、朝鮮総聯京都府本部、当協会の3団体が共同で実施する文化事業）
 - c 外国人のための住宅支援事業
 - d 外国籍市民コミュニケーション支援事業（行政通訳・相談事業、行政通訳相談員実務研修、京都市新生児訪問等通訳者派遣、選考試験、10周年記念シンポジウム、多文化子育てフェスタ、連携会議及び検討会、きょうと多文化子育てハンドブック）
 - e 災害時における外国籍市民支援（「地震・緊急時行動マニュアル」の発行、「kokoka 防災訓練 2017」の実施、多言語便利情報の運営、「京都市総合防災訓練」への参加）
 - f 多文化コミュニティ協働事業 定住者対象外国人コミュニティ連携会議
 - g 錦林東山学区民体育祭への参加
 - h グローバル婚活 koko コン
- オ 留学生との協働、留学生への支援、留学生との交流事業
- (ア) 留学生スタディ京都ネットワークへの参画
 - (イ) 京都市外国人留学生国民健康保険料補助事業
 - (ウ) 張鳳俊奨学基金奨学金支給事業
 - (エ) 留学生のための就職支援事業
 - (オ) 留学生優待プログラム
 - (カ) 外国人歓迎会
 - (キ) 来日直後留学生支援業務
- カ 広報・出版事業
- (ア) 広報・出版関係（年報『Annual Report』の発行）
 - (イ) 広告関係
 - (ウ) 京都市避難所／広域避難場所 Map の配布
- キ 姉妹都市コーナー・展示室の運営及び姉妹都市関連事業
- ク 京都市国際交流会館の運営
- (ア) 貸施設関係
 - (イ) 京都市国際交流会館屋外使用・館内ロビー等使用
 - (ウ) 団体事務室の入居団体及びレストランとの連携
 - (エ) 京都岡崎魅力づくり推進協議会への参画

(オ) 「春！kokoka おもてなし広場」の実施（日本庭園の無料開放を実施）
ケ 理事会等の開催

(2) 財務諸表

貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	55,039	53,899	1,140
未収金	2,566	2,783	△216
前払金	104	112	△8
流動資産合計	[57,709]	[56,794]	[916]
2. 固定資産			
(基本財産)			
投資有価証券	100,000	100,000	0
基本財産合計	(100,000)	(100,000)	(0)
(特定資産)			
退職給付引当資産	71,645	67,154	4,491
特定事業運営基金	100,000	100,000	0
特定資産合計	(171,645)	(167,154)	(4,491)
(その他固定資産)			
定期預金	2,100	2,100	0
投資有価証券	29,943	29,940	3
什器備品	99	136	△37
絵画等	9,700	9,700	0
その他固定資産合計	(41,842)	(41,876)	(△34)
固定資産合計	[313,486]	[309,030]	[4,457]
資産合計	371,196	365,823	5,373
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,171	1,667	1,505
預り金	2,187	988	1,199
前受金	15,279	13,934	1,345
賞与引当金	9,146	8,166	980
流動負債合計	[29,783]	[24,755]	[5,028]
2. 固定負債			
退職給付引当金	87,323	78,629	8,694
固定負債合計	[87,323]	[78,629]	[8,694]
負債合計	117,106	103,384	13,722
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
京都市出捐金	100,000	100,000	0
寄附金	100,000	100,000	0
指定正味財産合計	[200,000]	[200,000]	[0]
(うち基本財産への充当額)	(100,000)	(100,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(100,000)	(100,000)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[54,090]	[62,440]	[△8,349]
正味財産合計	254,090	262,440	△8,349
負債及び正味財産合計	371,196	365,823	5,373

正味財産増減計算書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,262	1,262	0
特定資産運用益	3,628	4,571	△944
事業収益	251,815	252,422	△607
受取補助金等	18,795	16,164	2,631
受取寄附金	1,261	1,118	144
雑収益	272	281	△9
委託料収益	5,032	8,216	△3,184
経常収益計	282,065	284,034	△1,969
(2) 経常費用			
事業費	274,461	266,143	8,317
管理費	15,954	14,101	1,853
経常費用計	290,414	280,244	10,170
当期経常増減額	△8,349	3,790	△12,140
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	△0	0	△0
当期一般正味財産増減額	△8,349	3,790	△12,140
一般正味財産期首残高	62,440	58,649	3,790
一般正味財産期末残高	54,090	62,440	△8,349
II. 指定正味財産増減の部			
受取寄附金	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000	200,000	0
指定正味財産期末残高	200,000	200,000	0
III. 正味財産期末残高	254,090	262,440	△8,349

2 平成 30 年度事業計画

(1) 事業概要

ア 市民への情報提供, 相談事業

- (ア) 情報サービス関連
- (イ) 図書・資料室の運営
- (ウ) 相談関連

イ 国際交流団体等との連携事業

- (ア) 京都国際交流団体情報ネットワーク (kokoka 国際交流団体ねっと)
- (イ) 共催事業・後援事業
- (ウ) 企業等コラボ事業

ウ 共生社会を促進していくための担い手育成事業

- (ア) 国際交流市民活動グループ育成支援事業「COSMOS」
- (イ) ボランティア活動育成事業
- (ウ) インターン受入事業
- (エ) 社会見学受入事業
- (オ) 日本語教室開講に対する支援
- (カ) 学生英語交流企画 (新規)

エ 異文化理解・多文化共生社会への促進事業

- (ア) 異文化理解・多文化共生社会を促進するためのフォーラム・セミナー等
フォーラム「チョゴリときもの」
- (イ) 異文化理解を促進するための交流活動
 - a kokoka オープンデイ
 - b 子どものための国際理解教育協働促進事業 国際理解プログラム「PICNIK」
 - c 開発教育入門セミナー
 - d 国際理解教材の貸出
 - e 京都市国際文化市民交流促進サポート事業
 - f 世界の絵本展
 - g 京都につながる世界歴史都市絵本展
 - h KYOTO・ふれあい講座「はじめてのお茶」
 - i やさしい日本語 (初心者向け日本語学習講座)

(ウ) 多文化共生社会へのまちづくり

- a 医療通訳派遣事業
- b コリアンサロン「めあり」
- c 外国人のための住宅支援事業
- d 外国籍市民行政サービス利用等通訳・相談事業
コミュニティ通訳人材育成 (母子保健通訳 DVD 作成, 試験問題開発, 検討会議)
(新規)
- e 災害時における外国籍市民支援 (「地震・緊急時行動マニュアル」の発行,
「kokoka 避難所宿泊訓練」の実施, 多言語便利情報の運営, 「京都市総合防災訓練」
への参加)
- f 多文化コミュニティ協働事業
- g 錦林東山学区民体育祭への参加
- h グローバル婚活 koko コン (セミナー)

オ 留学生との協働, 留学生への支援, 留学生との交流事業

- (ア) 留学生スタディ京都ネットワークへの参画
- (イ) 京都市外国人留学生国民健康保険料補助事業
- (ウ) 張鳳俊奨学基金奨学金支給事業

- (エ) 留学生のための就職支援事業
- (オ) 留学生優待プログラム
- (カ) 外国人歓迎会
- (キ) 来日直後留学生支援業務「ウェルカムパッケージ」
- (ク) kokoka 留学生ねっと（京都市留学生いきいき人材バンク）
- カ 広報・出版事業・広告事業
 - (ア) 広報・出版関係（年報『Annual Report』の発行）
 - (イ) 広告関係
 - (ウ) 京都市避難所／広域避難場所 Map の配布
- キ 姉妹都市コーナー・展示室の運営
- ク 京都市国際交流会館の運営
 - (ア) 施設管理及び貸出施設の運営
 - (イ) 京都市国際交流会館の前庭の活用
 - (ウ) 団体事務室の入居団体及びレストランとの連携
 - (エ) 京都岡崎魅力づくり推進協議会への参画
 - (オ) 「春！kokoka おもてなし広場」の実施（日本庭園を無料開放を実施）
- ケ 理事会等の開催

(2) 予算

正味財産増減予算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,000	2,000	0
特定資産運用益	4,200	4,200	0
事業収益	249,034	249,901	△867
受取補助金等	20,800	20,000	800
受取寄附金	3,083	3,013	70
委託料収益	6,965	7,016	△51
雑収益	202	202	0
経常収益計	286,284	286,332	△48
(2) 経常費用			
事業費	296,646	292,129	4,517
管理費	16,107	14,223	1,884
経常費用計	312,753	306,352	6,401
当期経常増減額	△26,469	△20,020	△6,449
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△26,469	△20,020	△6,449
一般正味財産期首残高	51,300	56,845	△5,545
一般正味財産期末残高	24,831	36,825	△11,994
II. 指定正味財産増減額の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000	200,000	0
指定正味財産金末残高	200,000	200,000	0
III. 正味財産期末残高	224,831	236,825	△11,994

(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H27 (決算)	H28 (決算)	H29 (決算)	H30 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	276,221	284,034	282,065	286,284
	当期経常増減額	△16,851	3,790	△8,349	△26,469
	当期正味財産増減額	△16,851	3,790	△8,349	△26,469
貸借対照表	総資産	376,097	365,823	371,196	
	総負債	117,448	103,384	117,106	
	正味財産	258,649	262,440	254,090	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H27 (決算)	H28 (決算)	H29 (決算)	H30 (予算)
委託料	京都市国際交流会館の管理運営 (指定管理)	191,986 (※1)	191,986 (※1)	191,986 (※1)	191,986 (※1)
	行政通訳・相談事業	2,470	2,470	2,470	
	平和祈念事業	515	515	452	
	留学生優待プログラム	1,646	1,531	1,480	
	国際文化市民交流促進サポート事業	300	300	300	
	乳幼児健診等への通訳派遣	1,126	1,126	1,078	
	日本語学習支援事業 (平成28年度から日本語学習支援事業に名称変更)	200	200	200	
	来日直後の留学生を支援する「ウェルカム・パッケージ」	200	3,200		
補助金	リユース食器利用促進助成金	116	124	105	2,200 (※2)
	京都市外国人留学生国民健康保険料補助事業	11,509	10,964	11,827	13,000
	ボランティア活動育成事業		190		
	koko 婚		236		
その他	医療通訳派遣事業	4,319	4,550	4,539	4,700

※1 一部利用料金制

※2 ごみ減量推進課所管助成金の平成30年度予算総額

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none">平成 29 年度は当期経常増減額が 8,349 千円の赤字となっているが、これは退職金引当によるところが大きく、平成 28 年度と比べて著しく経営状況が悪くなったわけではない。しかしながら、健全な経営を目指し、黒字で終わられるよう事業の効率化、収益増加に一層の努力を求める。
事業面	<ul style="list-style-type: none">企業、民間と協力しながら進める事業に取り組み、国際交流、多文化共生の促進を多面的に行っていることは大いに評価したい。また、多文化共生への取組として、平成 29 年度には「きょうと多文化子育てハンドブック」を作成し、平成 30 年度においては、学生英語交流企画、コミュニティ通訳人材育成等の新規事業を立ち上げるなど、積極的な事業展開を進めていることは高く評価できる。

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none">委託料収入の減少や退職給付費用等の人件費の増加により、平成 29 年度は当期正味財産増減額が赤字となった。経費節減を行うとともに、さらに自主事業の拡大や寄付金・協賛金の確保等、財源の多角化に取り組み、黒字化を目指す必要がある。
事業面	<ul style="list-style-type: none">企業連携イベントを多数開催するなど、積極的に自主事業を実施している。その結果、本市から管理を受託する京都市国際交流会館も計画を上回る来館者を確保しており、自主事業との相乗効果が出ている。